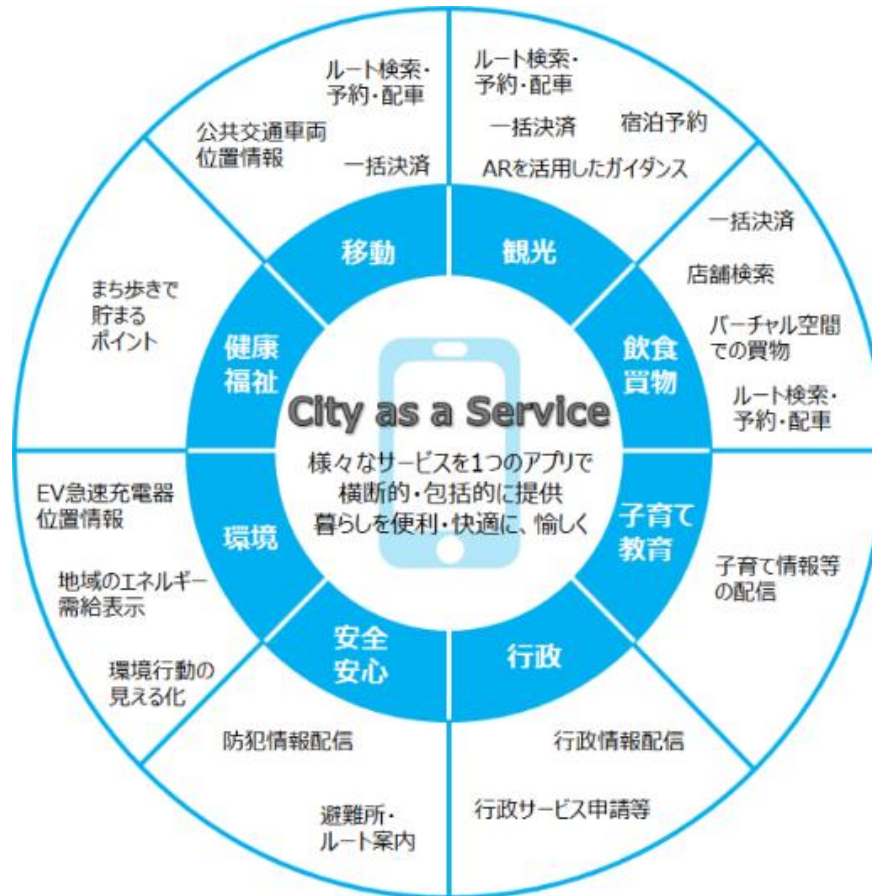


CaaS (City as a Service) について

- CaaS (City as a Service) は、生活利便性や回遊性を高めるため、**交通、健康、子育て、安全・安心、買い物、観光**など**包括的に情報やサービスを提供するツール**。
- 堺都心部の生活利便性や回遊性向上を図るもの。
- 利用者の視点を踏まえた情報やサービスを提供することが重要。



CaaSのイメージ

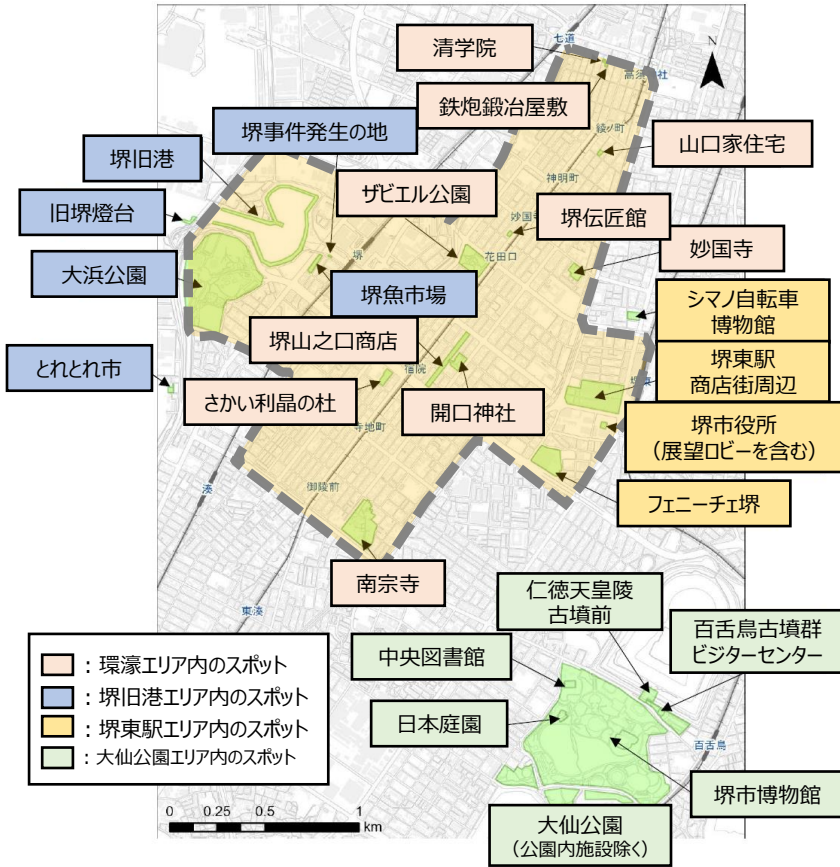
・都心部での情報提供、サービス提供について、市民・来訪者のニーズを把握するため、今後アンケート及びヒアリング調査を実施する。

調査の概要		アンケート調査	ヒアリング調査
	調査対象	● 過去1年以内に堺市都心部へ来訪・回遊したことがある方	● 堺市都心部へ来訪・回遊している方
	調査方法	● WEBモニターへのアンケート	● 現地でのヒアリング 平日1日、休日1日
	サンプル数	● 200サンプル ・市民100サンプル ・来訪者（市外在住者100サンプル） ※市民は年齢別人口割合に応じて回収	● 20サンプル 以上 ・市民10サンプル以上 ・来訪者（市外在住者）10サンプル以上

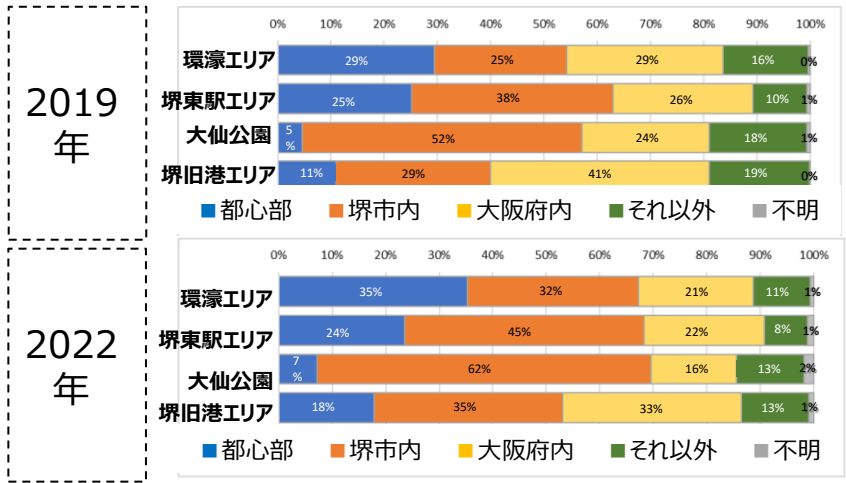
アンケート調査 設問内容	視点（項目）	調査内容
	個人属性	● 性別、年齢、居住地など
	堺市都心部への来訪、滞在・回遊の実態	● 来訪の目的、頻度、利用交通手段 ● 滞在・回遊時の移動手段、訪問施設、滞在時間 ● 滞在・回遊時の満足度（移動面、観光面）
	情報収集の実態	● 事前に情報収集した情報源 ● 滞在・回遊中に情報収集した情報源 ● 滞在・回遊中に使用したアプリ
	情報提供・サービスに対するニーズ	● 事前、滞在・回遊中の情報収集において不便に感じたこと ● 回遊する箇所を増やすために求める情報提供の内容 ● 自由意見

【参考】堺都心部の各観光スポットを訪れている人の属性

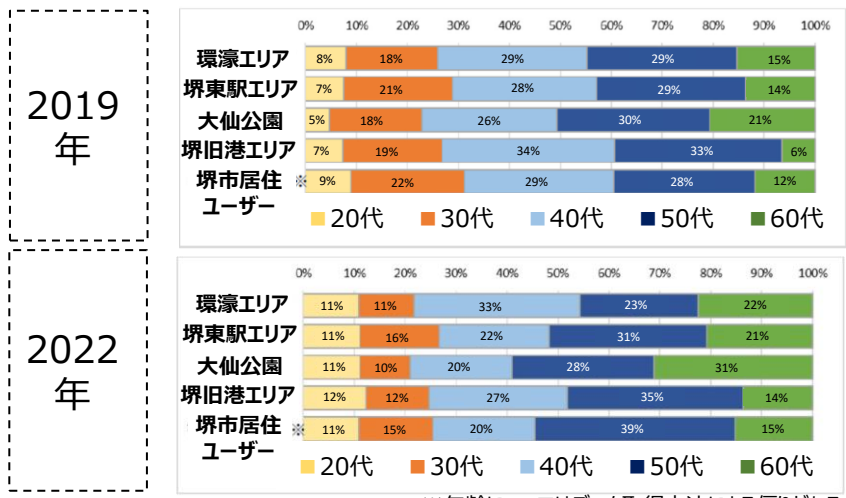
- 堺都心部への来訪者についてビッグデータを活用して分析を実施。各観光地の来訪者をエリア毎（下記左図）に分類し、来訪者の属性（居住地、年齢層）とクロス集計を行った。
- 結果、居住地では2019年時点で、「市内」「市外」は約半数ずつ、「年齢層」では「40代」「50代」が多い傾向にある。（下記右図）



来訪者数の計測対象とした観光スポット



各エリアにおける観光スポットへの来訪者属性 (居住地別)



※年齢についてはデータ取得方法による偏りがある

各エリアにおける観光スポットへの来訪者属性 (年代別)

計測対象：2019年11月24日～12月8日の15日間
2022年11月27日～12月11日の15日間

※各観光地付近が居住地又は勤務地となっている者は集計から除外した。

出典：令和4年度ビッグデータを活用した人流分析業務 報告書